

西日本インカレ（合同研究会）2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ) オオサカショウギョウダイガク	フリガナ) オービーピーコース	フリガナ) チェ キュホ
大阪商業大学	OBP コース	崔 圭皓

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画をを使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ) ジ オービーピー シガレッツ	フリガナ) ヒライ シュウ	12	無
the obp cigarettes	平井 脩		

研究テーマ（発表タイトル）
紙巻たばこ ～「1本売り」の可能性～

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

近年喫煙者は減少傾向にある。喫煙率を男女別に2006年から2016年の10年間で見ると、男性は41.3%から29.7%と11.6%減少あり、女性は、12.4%から9.7%と2.7%減少している。たばこの値上げや喫煙スペースの減少などの要因が重なり、喫煙者にとって居心地の悪い環境になっている。これも喫煙率の減少に影響している。

だが喫煙率を1995年から見ると、2010年を機に減少傾向は緩やかとなり、女性に至っては大きな減少は見られない。このことから、喫煙率の最小値には限界があり、ある一定の数まで減少すれば、その数は保たれると考えられる。そこで私たちはそういった喫煙者をターゲットとし、より多くのたばこを楽しむことができる居心地の良い空間を提供することを目的とした。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

喫煙者の心情を知るため、これから主なターゲットとなっていくであろう20代を中心とした150人の喫煙者に対して実施したアンケートで「喫煙者として不便に感じたことはありますか。」(左図)と質問したところ、約6割の人が「はい」と回答した。さらに「はい」と回答した人に「不便に感じたことの内容をお答えください。」(右図)という質問をしたところ、約7割の人が「喫煙スペースが少ない」と回答した。このことから、喫煙スペースがいかに減少し、喫煙者が喫煙スペースを求めているかがよく分かる。



3. 研究テーマの課題

例えば駅構内の喫煙所がなくなり、喫煙スペースが減少したことから、駅周辺での歩きタバコ、ポイ捨てが増加している。また飲食店の禁煙化が進み、店先にも喫煙スペースがない場合は駐車場などでのポイ捨てされた吸い殻が目につく。例に挙げたように、喫煙所の減少に伴い、マナーはより悪くなっていると言える。しかし、単に喫煙スペースを提供するのでは意味がないと考えられる。実際に、東京で営業していた無人有料喫煙スペース「ippuku」は電子マネー50円で喫煙スペースを提供するというものであったが、1年ほどで実質的に廃業という形となった。

さらに私たちがテーマとして掲げる「1本売り」は、財務省により認可されていないことから、実証することはできない。

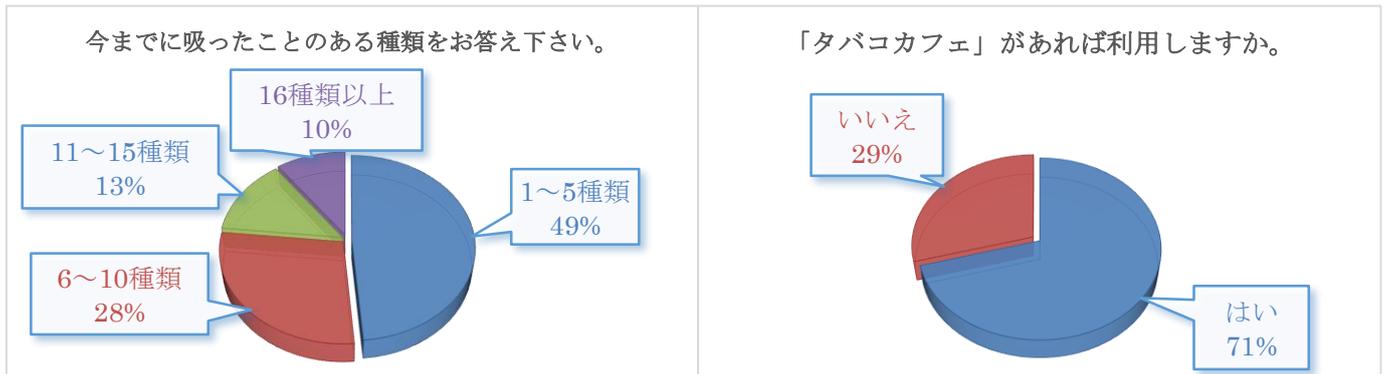
4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちが考えたものは、「1本売り」による紙巻タバコの可能性であり、喫煙者にとって居心地の良い空間を提供するということである。そのため、世界中の様々な銘柄のタバコを1本から吸うことのできる全席喫煙可能なカフェを提供する。「1本売り」することで、喫煙者は様々な銘柄のタバコを楽しむことができる。

さらに、禁煙の手助けも可能である。禁煙したいと考える人が、「これを最後の1本にしよう」と決意する。しかし、その最後の1本を喫煙し終わっても箱には複数本残る可能性が高い。これにより、最後の1本でなくなる可能性は低い。だが、「1本売り」をすることで、1本のみ購入することができる。そして禁煙したいと考える人にとって最後の1本にすることができ、禁煙率の上昇させることができると考えられる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

私たちの研究テーマが喫煙者のニーズに合っているのか調査するために、これから主なターゲットとなるであろう20代を中心とした150人の喫煙者である本学の学生、教職員、また本学周辺の喫茶店に協力をしていただき、アンケート調査を実施した。



上図は実施したアンケートの一部である。喫煙者は年齢に関係なく一つの銘柄を長く吸い続ける傾向があるが、様々な銘柄を試したのち、その銘柄に行きついたのではないかと考えた。そこで喫煙者は本当に様々な銘柄を試しているのかと疑問に感じ、「今までに吸ったことのある種類をお答えください。」(左図)という質問をしたところ、49%が1～5種類と回答したのに対し、51%が6種類以上の銘柄を吸ったことがあると回答した。さらに世界中の様々な銘柄のタバコを1本から吸うことのできる全席喫煙可能なカフェである「タバコカフェ」があれば利用しますか。(右図)という質問をしたところ、7割が「はい」と答える結果となった。このことから喫煙者がいかに様々な銘柄を試し、居心地の良い空間を求めているかが分かる。

6. 結果や今後の取り組み

私たちが研究・調査をした結果、喫煙率がゼロになる可能性は極めて低いと考えられ、喫煙者が居心地の良い空間を求め、様々な種類の銘柄を試すことから、「1本売り」は喫煙者のニーズに合うことが分かった。そこから世界中の様々な銘柄のタバコを1本から吸うことのできる全席喫煙可能なカフェを提供することで、より多くのタバコを楽しんでもらうことができ、さらに居心地の良い空間を提供できる。そして社会的に問題視されている喫煙者のマナー向上にもつながる。

7. 参考文献

- ・「タバコは百害あって一利なし」のウソ 武田良夫 洋泉社 2007
- ・「街角のタバコ屋はなぜ営業を続けられるのか? : 日常生活に密着した経済のしくみとカラクリ」 神樹兵輔 日本文芸社 2010
- ・「タバコの「謎」を解く」 コネスール 河出書房親書 2001

- ・JTウェブサイト (<https://www.jti.co.jp/tobacco/index.html>) 2016.8.14
- ・最新たばこ情報 (<http://www.health-net.or.jp/tobacco/product/pd090000.html>) 2016.8.14
- ・がん情報サービス (http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/smoking.html) 2016.9.23

西日本インカレ事務局への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までを渡します。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。